

菅大平温水ため池(あやめ公園池)

(すげおおだいらおんすいためいけ(あやめこうえんいけ))



全景



立派に育ったアヤメ



ため池を散歩するキツネ

ため池の概要

ため池の所在地

長野県木曾郡木祖村

ため池の特徴

標高900～1100mに造られた農業用ため池で、池の畔はアヤメ園として地域内外から親しまれています。

木祖村は、農業用水の低温障害に悩まされていましたが、昭和48年にこの池が造られたことによって米の生育が良くなり、稲作農業が大きく発展しました。池は、現在も貴重な農業用水として40haの水田を潤しています。

アヤメ園は、地元の人たちが、昔から池周辺に自生していたものを株分けや増植を行いながら苦労して大事に育てたものです。

キツネなど様々な動物が水辺を中心とした生活しており、生物の多様性も富んでいます。また、ため池には、ブラックバス等の外来魚は存在せず、地元でもコイやワカサギなどの在来魚を守る取り組みを行っています。

関連情報